

インフルエンザの集団発生について

平成19年1月22日(月)市立都跡中学校(柏木町13番地:加藤 二三男校長)より、第1学年を1月22日から24日の3日間、学年閉鎖すると奈良市保健所へ届出があった。これは、奈良市において今冬最初の集団発生であり、昨冬は1月13日が初発。保健所では、生徒及び職員の体調について今後なお一層注意するよう市教育委員会を通じて指導した。

なお、インフルエンザのウイルス分離(型)については検査中である。

学年	在籍者数	患者数	欠席者数
第1学年(3クラス)	112	50	30

【インフルエンザについての注意】

これから3月上旬頃までインフルエンザが流行する時期であり、さらに新型インフルエンザについても発生が懸念されているところであり、以下の項目や体調管理について一層の注意が必要である。

- ・ うがい及び手洗いをこまめにおこなう。
- ・ 睡眠を充分とり、規則正しい生活を送る。
- ・ 室内の換気を定期的におこない、乾燥しないようにする。
- ・ 流行時はマスクを着用する。
- ・ 流行前に予防接種をおこなう。

【インフルエンザ様疾患年度別流行状況(集団発生報告分)】

年度	流行型	患者数	
		奈良県	全国
平成13年	A香港型、Aソ連型、B型	1,770	345,084
平成14年	A香港型、B型	13,587	493,722
平成15年	A香港型、B型	6,969	298,323
平成16年	A香港型、B型	4,685	365,147
平成17年	A香港型、Aソ連型	5,886	217,903